

調査研究費補助表

議員名 福井 みち子

単位:円							
NO	年月日	調査研究の目的	調査地	交通費	宿泊費	その他	計
1	平成29年8月7日	子どもの貧困対策 空き家ごみ屋敷対策	足立区役所	2,024			2,024
2	平成29年4月～ 平成30年3月	地方改革ネット勉強会(学童保育・介護保険の総合事業・人権と教育など5回)	越谷中央公民館	10,360			10,360
	年月日						
	年月日						
	年月日						
	年月日						
	年月日						
	年月日						
	合計			12,384			12,384

研修費交通費明細

単位:円

No	名 称	行 程	交通費
1	市川房枝政治参画フォーラム2017「公教育の理念を活かすために」	白井～新宿	1167×4=4,668
2	地方×国政策研究会	白井～国会議事堂前	1137×2=2,274
3	TRCセミナー「まちの課題を解決する図書館」多久市が市内全校を小中一貫教育とした理由	白井～茗荷谷	1105×2=2,210
4	地方自治と図書館	白井～麴町	1105×2=2,210
5	市町村議会議員特別セミナー	白井～品川～京都～唐崎	14308×2=28,616
6	第239回JIフォーラム「自治体発「ふるさと住民票」というアイデア	白井～虎ノ門	1137×2=2,274
7	公益社団法人「東京自治研究センター」第256回フォーラム	白井～中野	1218×2=2,436
8	市川房枝政治参画フォーラム「セーフティネットは機能しているか」	白井～新宿	1167×4=4,668
9	公益社団法人「東京自治研究センター」第257回フォーラム	白井～中野	1218×2=2,436
10	介護保険制度の改定と議会審議のポイント	白井～秋葉原	1132×2=2,264
11	地方×国政策研究会	白井～国会議事堂前	1137×2=2,274
12	市川房枝政治参画フォーラム2017「身近な問題から財政を考える」	白井～新宿	1167×4=4,668
13	公共施設再編時代の図書館セミナー	白井～神保町	1063×2=2,126
14			
15			
16			
17			
18			
19			

研修費補助表

議員名 福井 みち子

NO	年月日	研修費の名称	会場費	講師謝金	負担金	会費	交通費	宿泊費	その他	計
1	平成29年5月19日 ～平成29年5月20日	市川房枝政治参画フォーラム2017「公 教育の理念を活かすために」				17,280	4,668			21,948
2	平成29年5月8日	地方×国政研究会				2,000	2,274			4,274
3	平成29年5月29日	TRCセミナー「まちの課題を解決する図 書館」多摩市が市内全校を小中一貫教 育とした理由				5,000	2,210			7,210
4	平成29年8月1日	地方自治と図書館				24,500	2,210			26,710
5	平成29年8月3日～ 平成29年8月4日	市町村議会議員特別セミナー				4,400	28,616			33,016
6	平成29年9月20日	第239回「J」フォーラム「自治体発「ふるさ と住民票」というアイデア				2,000	2,274			4,274
7	平成29年9月25日	公益社団法人「東京自治研究センター」 第256回フォーラム				1,000	2,436			3,436
8	平成29年10月27日 ～平成29年10月28 日	市川房枝政治参画フォーラム「セーフ ティネットは機能しているか」				18,000	4,668			22,668
9	平成29年10月30日	公益社団法人「東京自治研究センター」 第257回フォーラム				1,000	2,436			3,436
10	平成29年11月5日	介護保険制度の改定と議会審議のポイント				5,000	2,264			7,264
11	平成29年2月1日	政策研究会参加費				4,000	2,274			6,274
12	平成30年1月26日 ～平成30年1月27日	市川房枝政治参画フォーラム2017「身 近な問題から財政を考える」				18,000	4,668			22,668
13	平成30年3月29日	公共施設再編時代の図書館セミナー				24,500	2,126			26,626

126,680 63,124 189,804

単位:円

領 収 証

福井 みち子

様

No. _____

★ 5000円

内 訳 _____

現金 _____

小切手 / _____

手形 / _____

消費税額等(%) _____

但 平成29年度会費として

H29年4月17日 上記正に領収いたしました

収入印紙

地方政治改革会
会計担当

市川房枝政治参画フォーラム2017：公教育の理念を生かすために

講師プロフィール



中村 文夫(なかむら ふみお)氏

1951年、埼玉県生まれ。立教大学法学部卒。現在、教育行財政研究所主宰、専修大学非常勤講師等。専門は教育行財政学。義務制の公立学校事務職員を38年間経験する。現在の主要な関心は、子どもの貧困、少子化、公教育の無償化、地域の中の学校、学校職員の非正規化、チーム学校。著書は『子どもの貧困と公教育』(明石書店)、『学校財政』(学事出版)、『市場化する学校』(八月書館、編著)、『公教育の市場化・産業化を超えて』(八月書館、共著)、『公教育改革への提言』(八月書館、編著)など。



皆川 満寿美(みながわ ますみ)氏

1961年、東京都生まれ。1995年お茶の水女子大学大学院博士後期課程単位修得退学。大学非常勤講師として首都圏の大学複数でジェンダー系授業を担当する他、自治体や女性団体での講座経験多数。共編著に『「ジェンダー」の危機を超える！—徹底討論！バックラッシュ』(青弓社、2006年)など。近著に、「第3次男女共同参画計画改定／第4次男女共同参画基本計画策定について」(『ジェンダー法研究』第2号、2015年)、「女性活躍推進法の成立—『成長戦略』から『ポジティブ・アクション』へ」(『国際ジェンダー学会誌』第14号、2016年)。



高橋 恭子(たかはし きょうこ)氏

早稲田大学政治経済学術院教授。ビジネス・ウィーク東京支局、フリーランス・ジャーナリスト、慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授、早稲田大学川口芸術学校校長を経て、現在に至る。専門領域は映像ジャーナリズム、次世代ジャーナリズム、メディア・リテラシー。最近はとくに、米国の非営利独立メディアを含む新たなジャーナリズムのあり方やネット上の情報やニュースを読み解くリテラシー教育に関心を寄せている。映像作品に『リンダとモリー』(第11回ハワイ国際映画祭上映)、『次世代テレビの新風』、総務省メディア・リテラシー教材『私たちのメッセージを伝えよう～公共広告をつくる』、著書(共著)に、『Perspectives on Media Literacy』(Nordicom)、「メディア・リテラシーの教育の挑戦」(アドバンテージサー)等がある。FCTメディア・リテラシー研究所、日本こども映画コンクール等の審査員を務める。



鈴木 賢志(すずき けんじ)氏

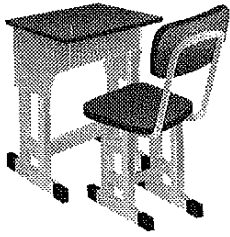
1968年、東京都生まれ。政治・国際研究博士(PhD)。1992年に東京大学を卒業し、日本企業に3年間勤務した後、英国ロンドン大学に留学。その後、英国ウォーリック大学を経て、1997年から2007年までスウェーデン、ストックホルム商科大学欧州日本研究所で研究・教育に従事。2007年から2008年にかけて英国オックスフォード大学客員研究員を経て帰国し、現在明治大学教授。2015年より一般社団法人スウェーデン社会研究所の代表理事・所長に就任。近年は主として日本とスウェーデンを中心に、先進諸国の社会システムと大衆心理を比較研究している。近著に『日本の若者は希望をなぜ持てないのか』(草思社、2015年)。

参加申込書

ふりがな お名前	ふく い みちこ 福井 みち子		
連絡先	住所	白井市池の上 2-11-1 (〒270-1428)	
	電話	047-491-2367 FAX	
	メール		
受講歴	はじめて参加 ・ <u>前に参加したことがある</u>		
現職議員	自治体名	白井市	
	所属会派	市民の声 党籍 有() ・ <u>無</u>	
議員以外	活動など()		
参加費	郵便振替	銀行振込 ・ その他()	
払込方法	払込金額	参加費(17,280円/8,640円) + 交流会参加費(2,500円) = 17,280円 *参加費:現職議員以外は8,640円	
参加の きっかけ	<u>議会事務局</u> より ・ 当センターからの案内 ・ 『女性展望』誌上 ・ 当センターHP その他()		

備考(要望など)

FAX 03 - 5388 - 4633



市川房枝政治参画フォーラム 2017

公教育の理念を生かすために

多様性を認める共生社会に異議を唱える動きが国境を越えて広がってきています。次世代の主権者である子どもたちの教育現場にその影響が出ていないでしょうか。今回のフォーラムでは、「公教育の実施主体としての自治体の課題」「ICT(情報通信技術)にまつわる子どもの事件が社会問題化する中でネット社会と子どものメディア・リテラシー」「政治教育先進国スウェーデンの教科書と主権者教育」を、またカレントピックスとして「自治体行政におけるジェンダー平等」を取り上げます。すべての自治体で総合教育会議が動き出し、自治体は様々な方向に進み始めましたが、公教育の理念を実践するのは自治体の責務でもあります。平和で持続可能な共生社会への歩みにつなげるように、共に学び自治の現場で実践していきましょう。

とき **5月19日(金)・20日(土)**

ところ 婦選会館 最寄駅:JR線/代々木駅北口、新宿駅南口・新南口下車徒歩約7分 道順はセンターHP参照
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分
対象・定員 自治体議員及びその支援者、テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム

第1日 5月19日(金) 開場 12時
13:00~13:15 ガイダンス・主催者あいさつ
13:15~15:45 基調講演 **公教育の実施主体としての地方自治体** 教育行政研究所主宰 中村文夫氏
16:00~17:30 カレントピックス **自治体行政におけるジェンダー平等—「男女共同参画社会」の実現はいつ?!**
早稲田大学他非常勤講師 皆川満寿美氏
17:40~19:00 交流会(自由参加)

第2日 5月20日(土)
10:00~12:00 講演 **ネット社会における子どものメディア・リテラシー**
—ジェンダーの視点も含めて— 早稲田大学教授 高橋恭子氏
13:00~15:00 講演 **スウェーデンの小学校社会科教科書を読む**
—投票率85.8%の国では、小学校で何を教えているのか— 明治大学教授 鈴木賢志氏
15:10~15:55 ディスカッション
15:55~16:00 閉会

参加費■17,280円(税込。現職議員以外の方は8,640円)交流会参加費は別途2,500円(税込)

備考▼参加希望者は5月15日(月)までに、①参加費の払込み、②裏面の申込用紙の送付をお願いします。

お払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。

[振込み先] 口座番号 口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター
銀行 店 口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター
銀行 支店 口座名 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

▼原則2日間通してのお申込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。▼納入後の参加費はお返できません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。もしくは1年以内の他のフォーラムに振り替えが可能です。▼お申込み、お問い合わせは下記まで。▼講師の都合などにより変更がある場合はご了承ください。

主催：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp> (2017.3)

--	--	--	--	--	--

図書館政策セミナー——民営化、複合化・多機能化と公共施設再編の時代を拓く

地方自治と図書館

～「知の地域づくり」を地域再生の切り札に～

- 民主主義の砦・図書館から地方自治体・議会のあり方を見直す
- 社会教育施設か公の施設か——自治体まちづくりと図書館の連携
- (佐賀・伊万里市) 生涯学習拠点として地域に根差した先駆的図書館づくり
- (岡山・瀬戸内市) 自治と公共政策に果たす、これからの図書館の役割と可能性

2017年8月1日(火) 10:00～16:45

剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)

- 【講師陣】
- 片山 善博 氏 / 早稲田大学 公共経営大学院教授
元総務大臣、元鳥取県知事、伊万里市民図書館名誉館長
- 糸賀 雅児 氏 / 慶應義塾大学 名誉教授
- 塚部 芳和 氏 / 佐賀県伊万里市長
- 嶋田 学 氏 / 岡山県瀬戸内市民図書館長

地方自治と図書館 (片山善博・糸賀雅児著 / 2016.12刊、
勁草書房 / 2,480円) をテキスト代わりにします。お持ちでない
方に、当日、会場で販売します (2,200円)。

■ 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い

銀行 支店
銀行 支店
銀行 支店
郵便振替 口座名：(株)地域科学研究会

- 会 場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27(案内図は申込後送付)
- 参加費 (1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一 般	35,000円	34,000円

※当日参加で申込後にご都合が悪くなった場合には代理の方の
ご出席をお願い致します。

■ 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします
(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送し
ますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日
受付でお渡し致します (日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 年 月 日

研修会『地方自治と図書館』への参加 書籍(テキスト)『地方自治と図書館』の購入

勤務先 (請求書等宛先名) _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

(通信欄) ○を付けて下さい

支払方法 (請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類 (納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

送信先: Fax. 03-3943-7058
図書館総合研究所 島 宛

TRC セミナー「まちの課題を解決する図書館」(5月29日開催)

多久市が市内全校を小中一貫教育とした理由
参加申込書

【お申込者】 下欄にご記入ください。

お名前	フリガナ
ご所属	
お役職	
ご住所	〒
Tel / Fax	Tel: Fax:
E-mail	@

*ご記入の連絡先等は、図書館流通センターグループからの政策情報や催し物のお知らせ等に限って使用させていただきます。

【領 取 書】 お宛名=□□市議会議員○○○○様、□□市○○○○課様など、発行日付=開催日、
発行者=株式会社図書館総合研究所(代表者肩書・氏名・印、社印)、但し書=セミナー参加費、
にてご用意致します。記載事項にご指定がある場合には、下欄に内容をお知らせ下さい。

<input type="checkbox"/> 日付 <input type="checkbox"/> 宛名 <input type="checkbox"/> 但書 <input type="checkbox"/> その他	
---	--

【通 信 欄】 テーマ関連のご関心事項、講師へのご質問等があれば、下欄にご記入下さい。

◆ 開催にあたって ◆

図書館の民営化や複合化・多機能化が注目されがちな今、『地方自治と図書館』（勁草書房、2016年刊）で話題を呼んだ片山氏と糸賀氏を中心に、確かな実績をもつ実務家を加え、図書館の動向と本質を直球勝負で学ぶ政策セミナーを開催します。図書館の設置や移転・改築を検討している自治体だけでなく、公共施設の再編が課題となっている自治体にとっても、まちづくりや地域活性化、生涯学習振興など「知の地域づくり」の進め方を、著名な講師陣から直接学べる貴重なセミナーです。

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:00	<p>地方自治から見た図書館 ～社会教育施設か公の施設か？～</p> <p style="text-align: right;">慶應義塾大学 名誉教授 糸賀 雅児 氏</p> <p>住民自治と団体自治、まちづくり政策、情報公開制度などの視点から地方自治法、社会教育法、図書館法との関係を整理し、2008年図書館法改正と2012年図書館の望ましい基準改正（文科省告示）についても、文部科学政策に精通した講師が解説する。</p>
11:10 ～ 12:00	<p>地方自治から見た伊万里市民図書館 ～市民参加による生涯学習の拠点づくり～</p> <p style="text-align: right;">伊万里市長 塚部 芳和 氏</p> <p>市民生活に根ざす先駆的な図書館づくりを実現させた伊万里市長が、“文化的かつ民主的な地方自治の発展を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点”（伊万里市民図書館設置条例第1条より）と位置づける図書館について、豊富な行政経験を背景に熱く語る。</p>
13:00 ～ 13:50	<p>瀬戸内市民図書館から見た地方自治 ～公共政策に図書館はどう関わろうとしたか？～</p> <p style="text-align: right;">瀬戸内市民図書館長 嶋田 学 氏</p> <p>5年に及ぶ準備期間を経て2016年6月にオープンした瀬戸内市民図書館（岡山県）の準備室長と館長経験にもとづいて、地方自治と公共政策に果たす図書館の可能性と役割を、三つの自治体を渡り歩いた講師が実例を交えてわかりやすく説明する。</p>
14:00 ～ 15:00	<p>図書館から見た地方自治 ～図書館は民主主義の砦～</p> <p style="text-align: right;">早稲田大学教授・元鳥取県知事・元総務大臣・ 伊万里市民図書館名誉館長 片山 善博 氏</p> <p>地方行財政の現状と課題を踏まえ鳥取県知事時代の経験をもとに、地方自治論の泰斗が図書館から地方自治や議会のあり方を見直すとともに、「民主主義の砦」としての図書館の存在意義と果たすべき機能を存分に論じる。</p>
15:15 ～ 16:45	<p>〔質疑と討論〕 地方自治と図書館</p> <p style="text-align: center;">片山 善博 氏 / 塚部 芳和 氏 / 嶋田 学 氏 糸賀 雅児 氏（コーディネータ）</p> <p>会場から寄せられる質問に講師陣が回答し、それらをもとに地方自治と図書館をめぐる論点を整理し、互いに論じ合う。</p>

TRC セミナー「まちの課題を解決する図書館」

多久市が市内全校を小中一貫教育とした理由 ～縮小する地方都市の生き残り戦略としての学校再編～

図書館総合研究所

拝啓 時下ますますご清祥の御事とお喜び申し上げます。

さて、図書館づくりと図書館を通したまちづくりに貢献する図書館流通センター(TRC)グループでは、地域政策をめぐる情報交流・共同研究の場としてセミナー「まちの課題を解決する図書館」を開催しております。

今回は、学校の統廃合が不可避な情勢の中、2013 年度に市内全校を小中一貫校化し、17 年度には「義務教育学校」に移行、さらに地域学、IT 教育、国際化など教育充実の取り組みでも注目される佐賀県多久市の事例をもとに、学校再編のあり方等について、教育政策及び地域政策の観点から考えます。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、是非ともご参加くださいますようご案内申し上げます。 敬具

Talking Points:

多久市は、佐賀県中央に位置する人口 2 万人弱のまちです。少子化率 11.7%、高齢化率 32.4%、財政力指数 0.35…と、多くの地方都市同様、地域の持続性の面で厳しい数字が並びます。このまちでは、児童生徒の減少から小中学校の統廃合が俎上に上る中、2013 年度に、全国に先駆けて、市内全校を小中一貫校化、17 年度から義務教育学校に移行します。併せて、地域学、ICT、国際化など教育をより豊かなものとする取り組みも推進しています。

ともすると財政優先、縮小の方向に舵をとり、統廃合に向けた合意形成等で暗礁に乗り上げる例も散見されます。多久市での取り組み事例をもとに、これからの学校再編のあり方等について、教育政策及び地域政策の観点から考えます。

【日 時】 5月29日(月) 15:00-17:00

(講師の急な公務等止むを得ない事情により日時が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。)

【講 師】 横尾俊彦(よこお・としひこ) 佐賀県 多久市長

慶應義塾大学法学部卒業。在学中に公費交換留学生としてカナダに留学。松下政経塾(第 1 期生、同期に野田佳彦・元首相等)を経て、1997 年、多久市長に初当選。現在 5 期目。佐賀県市長会会長、全国市長会副会長、青年市長会会長、内閣府地方分権改革推進委員会委員等を歴任。多久聖廟(孔子廟)を擁する文教の里で、教育、福祉、健康を含め世界一の都市経営を追求。共著に、『松下政経塾 講義ベストセレクション 地方自治編』、『国の常識は地方の非常識』など。

【会 場】 図書館流通センター本社 ホール(東京都文京区大塚 3-1-1)

* 東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅より徒歩 1 分、春日通りに向かって左手、茶色のビル
<http://www.trc.co.jp/company/location.html>

【参加費】 お一人様 5,000 円(税込) 当日、会場受付で頂戴致します。

【お申込】 下欄「参加申込書」に必要事項をご記入の上、Fax でお申込ください。

* お申込受付後、メールにて「出席票」をお届け致します。

* お申込後、ご欠席となる場合には、事前に、下記まで、必ずご連絡ください。

【お問合せ】 TRC セミナー「まちの課題を解決する図書館」(担当: 島)

〒112-8632 東京都文京区大塚 3-1-1 株式会社図書館総合研究所

Tel: 03-3943-2221 Fax: 03-3943-7058 E-mail: shima.yasuyuki@mxh.trc.co.jp

URL: <http://www.trc.co.jp/soken/>



平成29年度

第2回市町村議会議員特別セミナー

急速な少子高齢化により、日本の高齢化率は26.7%（平成27年10月現在）、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には30.3%になることが予想されています。（平成28年版高齢社会白書）

超高齢社会において、老いても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住民に一番近い存在である市町村には早急な取り組みが求められています。また、この超高齢社会を支えていく現在の子どもたちにより良い未来社会の創造を託すためにも、子ども期の貧困対策も大変重要な課題です。

今回のセミナーでは、世界に類を見ないスピードで進行する超高齢社会における喫緊の課題を取り上げ、今、市町村で何をしなければいけないのか、各分野でご活躍の著名な先生方よりご講演いただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

平成29年8月3日(木)

- 2025年に向けた医療介護総合確保政策
～地域包括ケアシステムと地域医療構想～
慶應義塾大学名誉教授 **田中 滋氏**
- 子どもの貧困対策 ～子どもの貧困の現実と対策～
法政大学現代福祉学部教授 **湯浅 誠氏**

平成29年8月4日(金)

- 認知症対策
～団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて～
医療法人社団つくし会理事長 **新田 國夫氏**
- 災害と福祉の連携 ～これまでの活動実践から～
認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事
浦野 愛氏

開催要領

日程 平成29年8月3日(木)～8月4日(金) (2日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 ※JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩3分

対象 市区町村議会議員の皆さま ※2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 200人 ※募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページでお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 6,650円 ※左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備、事前学習にかかる費用は含まれておりません。また、最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成29年6月21日(水)まで

申込方法 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

※「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込ください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <http://www.jiam.jp>

■スケジュール予定 変更の可能性があります

10時～10時10分 開会のあいさつ

◎テーマ1 「非正規」公務員の改革

10時10分～10時40分 新しい公務員制度（国の職員による説明）

10時40分～11時20分 質疑応答

<10分休憩 職員との名刺交換など>

11時30分～12時 改革の問題点と今後の課題、自治体での活用方法 講師：白石孝さん（官製ワーキングプア研究所）/上林陽治さん（地方自治総合研究所）

12時～12時半 質疑応答

◎テーマ2 指定管理者制度

13時30分～14時 指定管理者制度の状況（国の職員による説明）

14時～14時30分 質疑応答

<10分休憩 職員との名刺交換など>

14時40分～15時20分 指定管理者制度の問題点と今後の課題 講師：上林陽治さん コメント 白石孝さん

15時20分～15時40分 質疑応答 地方での事例報告

15時40分～16時 センター幹事 福嶋浩彦（元我孫子市長）による行政と民間のあり方 我孫子市での実践より

国会見学

8時半より国会（衆議院）の見学を実施します。それ以外でも前日や翌日に個別に

申し込みれば見学は可能ですが、当日は8時半以外はうまく時間帯が合いません。

また、地方の方は特に敷居が高く感じるかもしれません。

ということで8時15分に衆議院第二議員会館ロビーにお越しの方は井奥が参観受け付け所までお連れしますのでお申込みください。

①氏名②年齢③性別④緊急連絡先 が必要です。

iokuioku3@gmail.com もしくは 090-4030-1219 で5月6日午後5時締め切りです。

第 24 回地方×国政策研究会

テーマ：「非正規」公務員の改革、指定管理者制度

○場所：衆議院第二議員会館 第 1 会議室

【東京・地下鉄永田町・国会議員会館前徒歩 5 分】

○講師 白石孝さん（官製ワーキングプア研究所）、上林陽治さん（地方自治総合研究所）、総務省職員

○参加費（資料代） 会員議員 2000 円／非会員議員 4000 円／会員市民 無料／非会員市民 500 円

○主催 自治体議員政策情報センター

〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田 2 F

TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724 E-mail:jichitaigiinjouhou@gmail.com

●テーマ 1 「非正規」公務員の改革関連

行政の仕事を担当する公務員や公務労働のあり方について今回はじっくりと議論の場を設定しました。

まずは「非正規」公務員の改革です。総務省は昨年 2016 年 12 月に「地方公務員の臨時・非常勤職員及び任期付職員の任用等の在り方に関する研究会」報告書を

とりまとめました。そして、それにもとづき 3 月 7 日、地方公務員法及び地方自治法の改正案を閣議決定、今次通常国会で成立させ、2020 年 4 月 1 日に施行する予定

としています。報告書については総務省が「非正規」公務員の問題に取り組む姿勢を示したことへ市民団体も評価していました。

ところが改正内容が明らかになるにつれ、批判の声も出ています。国の説明を受けつつ、市民団体の批判的論点も学びます。

●テーマ 2 指定管理者制度

平成 15 年度施行（2003）の自治法改正と「3 年の経過措置期間中の移行」により多くの自治体で「指定管理者制度」が導入され、その後も増え続けています。

しかし、拡大の過程で「指定管理者と市との関係」「サービスの低下」など課題も浮き彫りになりつつあります。

まず現状の指定管理者制度の導入状況、導入施設の例などを総務省から報告いただきます。

続いて 2008 年に「指定管理者制度の現状と今後の課題」というレポートをまとめ、佐倉市指定管理者審査委員長を務める、地方自治総合研究所の上林陽司さんに課題などを指摘いただきます。

平成29年

8月
3日(木)

- 11:00～12:00 入寮受付・昼食
 12:45～ 開講式・日程説明
 13:00～14:30 2025年に向けた医療介護総合確保政策
 ～地域包括ケアシステムと地域医療構想～
 慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 氏
 14:50～16:20 子どもの貧困対策 ～子どもの貧困の現実と対策～
 法政大学現代福祉学部教授 湯浅 誠 氏
 17:15～ 交流会 ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成29年

8月
4日(金)

- 9:00～10:30 認知症対策
 ～団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて～
 医療法人社団つくし会理事長 新田 國夫 氏
 10:50～12:20 災害と福祉の連携 ～これまでの活動実践から～
 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事 浦野 愛 氏
 12:20～12:30 閉講・事務連絡

講師紹介

● 慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 氏

1971年慶應義塾大学商学部卒業、1975年慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了。1977年ノースウエスタン大学経営大学院修士課程修了。1977年慶應義塾大学ビジネス・スクール助手、1981年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授、1993年教授。2014年名誉教授就任後も新たに設けられたヘルスケアマネジメント・イノベーション寄附講座をベースに研究・教育を継続。現在務める主な公職は、日本ヘルスサポート学会理事長、日本介護経営学会会長、医療経済学会理事、日本ケアマネジメント学会理事、社会保障審議会介護給付費分科会長、同会福祉部会長、同会医療部会長代理、医療計画の見直し等に関する検討会座長代理、全国健康保険協会運営委員長など。

著書論文は、『地域包括ケア サクセスガイド:地域力を高めて高齢者の在宅生活を支える』(メディカ出版、2014年)、『介護イノベーション-介護ビジネスをつくる、つなげる、創造する-』(第一法規、2011年)等他多数。

● 法政大学現代福祉学部教授 湯浅 誠 氏

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。2008年末の年越し派遣村村長を経て、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。現在、法政大学現代福祉学部教授の他、NHK第一ラジオ「マイあさラジオ」、文化放送「大竹まことゴールデンドラジオ」レギュラーコメンテーター、「ラジオフォーラム」レギュラーパーソナリティー、朝日新聞パブリックエディター、日本弁護士連合会市民会議委員。講演内容は貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、人権問題などに渡る。

著書に『ヒーローを待たなくても世界は変わらない』(朝日文庫)、第8回大佛次郎論壇賞、第14回平和・協同ジャーナリスト基金賞を受賞した『反貧困』(岩波新書)、『貧困についてとことん考えてみた』(茂木健一郎氏と共著、NHK出版)など多数。Yahoo! ニュース個人の連載「1ミリでも進める子どもの貧困対策」で「オーサーアワード2016」を受賞。また、法政大学「2016年度 学生が選ぶベストティーチャー賞」を受賞。

● 医療法人社団つくし会理事長 新田 國夫 氏

1979年帝京大学医学部卒業後、同大学病院第一外科・救急救命センターに務める。1990年新田クリニックを開設し、在宅医療を開始。1992年医療法人社団つくし会を設立し、理事長に就任。医学博士、日本外科学会外科専門医、日本消化器病学会専門医、日本医師会認定産業医。全国在宅療養支援診療所連絡会会長、日本臨床倫理学会理事長、福祉フォーラム・東北会長、福祉フォーラム・ジャパン副会長、日本在宅ケアアライアンス議長、医道審議会保健師助産師分科会看護師特定行為・研修部会員、全国在宅医療会議会長代行、厚生労働省老人保健健康推進事業地域包括ケア研究会委員、東京都在宅療養推進会議会長等多数の公職を務める。著書等多数。

● 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事 浦野 愛 氏

社会福祉士。同朋大学社会福祉学部卒業。在学中、阪神・淡路大震災で被災者支援にあたる。1999年より社会福祉法人特別養護老人ホーム愛生苑デイサービスセンター介護職員として勤務。2002年レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとして活動。2004年より事務局長、2009年より常務理事。災害時要援護者への支援事業を中心に活動を行っている。これまでの災害救援・復興活動支援は、阪神・淡路大震災の他、東海豪雨災害(2000年)、新潟・福島豪雨水害、新潟県中越地震(2004年)、能登半島地震、新潟県中越沖地震(2007年)、東日本大震災(2011年)、京都南部豪雨水害(2012年)等多数。内閣府「避難所における良好な生活環境の確保に関する検討会」委員、愛知県「災害時保健活動マニュアル検討委員会」委員等多数の公職を務める。

- ・ 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- ・ 受講者による講義中の録音・写真撮影は固くお断りしております。・ 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は、所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

自治体発「ふるさと住民票」というアイデア

「関係人口」をふやしゼロサムからプラスサムへ

【本日の論点】

構想日本と12の自治体で、2015年から「ふるさと住民票」の活動を進めています。住民票はないけれど故郷に愛着がある、仕事や介護で複数の地域に住んでいるなど、現代人は自治体に対してより柔軟な関係を求めています。これに対して「ふるさと住民票」は、人々と自治体の「複線的な関係」を提供しようというものです。そして、実施5市町村は「ふるさと住民」が400名余ふえたのです。

今、各地で人口増の取り組みが行われていますが、日本全体の人口が減る時代には、所詮「とりあい」に終わります。しかし「関係人口」すなわち地域に関わる人をふやせば、ゼロサムがプラスサムになるのです。国の制度の枠にとどまらず、独自の知恵で関係人口をふやす。これが人口減少時代の自治体の姿ではないでしょうか。

【討論者略歴】（五十音順・敬称略）

菅野 典雄（福島県 飯舘村長）

1946年福島県相馬郡飯舘村生まれ。帯広畜産大学卒業後、地元で酪農家になる。89年から囑託で飯舘村公民館長を務め、96年飯舘村長就任。80年福島県「80年をどうする提言募集」で最優秀賞、「若い農業者グループ活躍コンクール」で総理大臣賞（全国農業会議所）などを受賞。著書に「飯舘村に生きる」、「美しい村に放射能が降った」、「男からのラブレター —21世紀へのパスポート 女と男のやさしい関係」「こころのぼけっと」ほか。

福嶋 浩彦（中央学院大学 教授／元消費者庁長官／元安孫子市長）

鳥取県生まれ。1981年筑波大学除籍。1983年我孫子市議会議員。1995年38歳で我孫子市長に。2007年1月、3期12年で市長を退任。この間、全国青年市長会会長、福祉自治体ユニット代表幹事などを務める。市補助金の公募と市民審査、常設型住民投票条例の制定、コミュニティビジネスの育成、市民債による自然環境の保全、提案型公共サービス民営化など、市民自治を理念とした自治体改革に取り組む。市長退任後、行政刷新会議仕分け人。2010年から2012年8月まで消費者庁長官。現在は中央学院大学社会システム研究所教授。著書に『市民自治の可能性—NPOと行政』、『公会計改革〜ディスクロージャーが「見える行政」をつくる』（共著）、『市民自治』など。

安富 圭司 (佐那河内村 総務企画課)

1973年生まれ。1993年佐那河内村職員。現在、総務企画課 地方創生、移住・定住促進を担当(5年目)。担当として2003年から官民協働で取り組んできたゴミ分別活動は、2007年に環境省の「循環・共生・参加まちづくり表彰」を受賞。地方創生関連事業として、1000年つづくむらと村独特の地域コミュニティ(講中・常会・名中)を継承していくために、「移住人口」と「関係人口」の獲得を目指し、ふるさと住民票を活用した地域おこし支援員制度を提案し実施。また、各種団体との連携により移住支援体制を構築するとともに、ふるさと納税を原資に「一般財団法人さなごうち」を設立して、遊休不動産の利活用やサテライトオフィス誘致などを行っている。

山下 祐介 (首都大学東京 准教授)

首都大学東京准教授。1969年生まれ。九州大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程中退。弘前大学准教授などを経て、現職。専攻は都市社会学、地域社会学、環境社会学。著書に『限界集落の真実』『東北発の震災論』『地方消滅の罣』(ともにちくま新書)、「復興」が奪う地域の未来(岩波書店)。共著に『人間なき復興』(ちくま文庫)ほか。

【コーディネーター】

加藤 秀樹 (かとう ひでき) 構想日本 代表

大蔵省に勤務の後、1997年4月、日本に真に必要な政策を「民」の立場から立案、提言そして実現するため、非営利独立のシンクタンク構想日本を設立。幅広い分野で政策提言を行い、実現したものは40以上にのぼる。とりわけ2002年から始めた「事業仕分け」は地方自治体で230回以上行われ、国では現政権でも行政事業レビューとして定着している。さらにインドネシア国会、OECDなど海外でも行政への国民参加、オープンガバメントの有効な手法として注目されている。現在、医療・介護や地域金融政策などを中心に、その実現に向けて各分野の変革者やNPOと連携し活動している。

<まずはご連絡ください! お気軽に!>

「自分のまちを何とかしたい」「もっと元気にできないか」

「住民協議会は良い取り組みだと思うけど自分は企画課にいないから残念」(市職員)

「事業仕分けのようなことを自分のまちではなんでやらないんだろう」(経営者)

などの声をよく聞きます。しかし、担当課にいなくても、行政職員でなくても、大丈夫です。担当ではない人や町の人が声を出したことがきっかけとなって実現した事例はたくさんあるのです。構想日本はそれをお手伝いし、サポートするNPOです。

何とかできないか…と考えている方、まずは以下までご連絡ください。

【お問合せ先】 構想日本 (info@kosonippon.org、TEL 03-5275-5607 担当:伊藤、田中、永由)

第239回J.I.フォーラム 自治体発「ふるさと住民票」というアイデア



日時:

2017/09/20(水) 18:30～20:30(18:00開場)

場所:

日本財団ビル2階 大会議室

ゲスト:

菅野 典雄 (福島県飯舘村長)

福嶋 浩彦 (中央学院大学 教授・元消費者庁 長官・元我孫子市長)

安富 圭司 (佐那河内村 総務企画課)

山下 祐介 (首都大学東京 准教授)

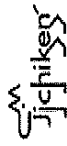
コーディネーター : 加藤 秀樹(構想日本代表)

構想日本と12の自治体で、2015年から「ふるさと住民票」の活動を進めています。

住民票はないけれど故郷に愛着がある、仕事や介護で複数の地域に住んでいるなど、現代人は自治体に対してより柔軟な関係を求めています。これに対して「ふるさと住民票」は、人々と自治体の「複線的な関係」を提供しようという...



No. 256 月例フォーラム



多様性を認めあう社会の会場：

中野サンプラザ7階研修室8

中野区中野4-1-1 TEL 03-3388-1151

【交通】JR中央線・総武線・東京メトロ東西線 中野駅より徒歩2分

講師

天野 誠一郎(あまの せいいちろう)さん
(国立市在住・障がい当事者)

とき

9月 25日(月) 14:00~16:15

次回の月例フォーラム：

No.257

内容

国立市では、障害者差別解消法の施行に合わせて、2005年に制定された「しよち宣言」を数参加する条例づくりに取り組んで、障害者が多参加する条例化の苦闘や成果についてお話をうかがいます。

「指定管理者制度の理念と実態～指定管理者基本条例の必要性～」

講師：幸田 雅治さん(神奈川大学法学部教授)

とき：10月30日(月) 13:30～16:15

会場：中野サンプラザ7階研修室8

No.257～259のテーマは「指定管理者制度の現在」です

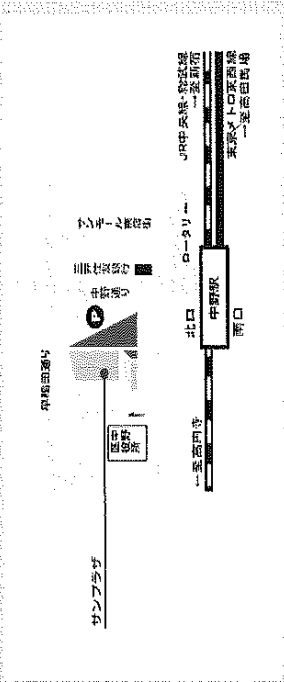
公益社団法人 東京自治研究センター

〒102-0072 千代田区飯田橋1丁目12番15号 福岡第4ビル1階

TEL. 03-6256-9912 FAX. 03-6256-9913

<e-mail>tokyojic@jca.apc.org <Web> http://www.jca.apc.org/tokyojic/

● 参加費：1,000円(会員は無料)



市川房枝政治参画フォーラム



セーフティネットは機能しているか

介護保険改正による歪み、様々な理由による介護職員の拡大、年金制度見直しの中で高齢世帯の生活困難、子どもの貧困、居場所のない少女たちの存在…。「社会保障の充実」の言葉と裏腹に自助・共助が弱体化され、基本に据えるべき公助が後回しにされています。持続可能な共生社会を実現するには、セーフティネットを機能させる必要があります。国会は衆議院解散、総選挙に踏み切りました。各分野の専門家や選挙結果も踏まえたお話等、共に学び、自治を実践していくためのフォーラムを開催します。

とき **10月27(金)・28(土)**日

ところ 婦選会館 最寄駅:JR線/代々木駅北口、新宿駅南口・新南口下車徒歩約7分 道順はセンターHP参照
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分 地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分
対象・定員 自治体議員及びその支援者、テーマに関心のある人(主に女性)約40名(受付先着順)

プログラム

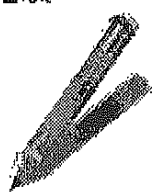
第1日 10月27日(金) 開場12時

- 13:00~13:20 ガイダンス・主催者あいさつ
- 13:20~14:50 講演 居場所のない少女たちを支援して Colabo代表 仁藤夢乃氏
- 15:00~17:00 基調講演 年金制度の現状と課題 株式会社日本総合研究所調査部 主席研究員 西沢和彦氏
- 17:15~18:30 交流会(自由参加)

第2日 10月28日(土) 開場8時30分

- 09:00~10:30 カレントピックス いま、改めて「憲法とは何か」を考える
—「改憲詐欺」にだまされないために— 早稲田大学教授 水島朝穂氏
- 10:40~12:30 講演 ケアラー支援法の必要性と実現に向けて 日本女子大学教授 堀越栄子氏
- 13:20~15:30 講演 また変わる！ 介護保険 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰 小竹雅子氏
- 15:30~15:50 ディスカッション
- 15:50 閉会

- 参加費▼ 18,000円(税込。現職議員以外の方は8,000円)、交流会参加費は別途2,500円(税込)
- ▼ 参加希望の方は10月20日(金)までに、①参加費の払込み、②裏面の申込用紙の送付をもって受付いたします。払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。
- ▼ 振込み先
郵便振替 []
口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター [] 銀行 [] 店 []
口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター [] 銀行 [] 支店 []
口座名 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター
- ▼ 原則2日間通してのお申込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。
- ▼ 納入後の参加費はお返できません。ご欠席の場合は代理の方にご出席いただけます。もしくは1年以内の他のフォーラムへの振り替えが可能です。
- ▼ お申込み、お問い合わせは下記まで。
- ▼ 講師の都合などにより変更がある場合は、ご了承ください。



主催:公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 〒151-0053

電話 03-3370-0238 FAX 03-5388-4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

2017 社会保障フォーラム：セーフティネットは機能しているか

講師プロフィール



仁藤夢乃(にとう ゆめの)氏

1989 年生まれ。一般社団法人 Colabo 代表。中高時代に街をさまよう生活を送った経験から、女子中高生の支援を行っている。夜間巡回や声掛け、相談／シェルターでの一時保護や宿泊支援／食事・風呂・文具・衣類の提供／児童相談所や病院、警察などへの同行支援／自立支援シェアハウスや虐待や性暴力被害を経験した少女たちの自助グループの運営を行っている。著書に『難民高校生』(ちくま文庫)、『女子高生の裏社会』(光文社新書)がある。



西沢和彦(にしざわ かずひこ)氏

1989 年一橋大学社会学部卒業。同年三井銀行(現三井住友銀行)入行。2001 年株式会社日本総合研究所入所、現在に至る。この間、法政大学大学院社会科学部研究科修士(経済学)。社会保障審議会年金部会委員(2006～2009 年)。現在、社会保障審議会年金事業管理部会委員。主な著書『年金制度は誰のものか』(日本経済新聞出版社、第 51 回日経・経済図書文化賞)、『税と社会保障の抜本改革』(日本経済新聞出版社、第 40 回日本公認会計士協会学術賞)。



堀越栄子(ほりこし えいこ)氏

介護者にも支援が必要であること、それをバックアップする法制度の必要性を痛感しています。日頃は大学で教員として研究教育に携わるとともに、「日本ケアラー連盟」代表理事、「認定 NPO 法人さいたま NPO センター」代表理事、「さいたま市男女共同参画社会推進協議会」委員その他複数の団体に関わりながら、市民生活の基盤に関わる領域(たとえば介護や市民自治)について、市民が「達成感や幸せの実感がもてる暮らし(方)」はどのようなシステムや地域社会で実現できるのかを模索し、仲間と実践しています。



小竹雅子(おだけ まさこ)氏

2003年より「市民福祉情報オフィス・ハスカップ」主宰。メール・ミニコミ『市民福祉情報』をネットで無料配信(17年7月現在、922号。配信数1600件)。04年～社会保障制度などをテーマにセミナー開催中。『ハスカップ・レポート』を随時発行。06年～首都圏の市民活動グループと「介護保険ホットライン」を毎年開設。13年秋、14年春には弁護士と「介護労働ホットライン」を開設。著書『介護情報ハンドブック』(02年)、『こう変わる！介護保険』(06年)、『介護情報Q & A第2版』(09年)、『介護認定』(09年、共著)。市民福祉情報オフィス・ハスカップ編『おかしいよ！改正介護保険』(06年、現代書館)ほか。最新刊『もっと変わる！介護保険』(14年8月発行)。特記以外、岩波ブックレット。



水島朝穂(みずしま あさほ)氏

1953年東京都府中市生まれ。札幌学院大学、広島大学の助教授を経て、96年より現職。憲法、法政策論。博士(法学)。全国憲法研究会代表(2015年10月まで)。単著『平和の憲法政策論』『現代軍事法制の研究』(日本評論社)、『18歳からはじめる憲法(第2版)』(法律文化社)、『ライブ講義徹底分析!集団的自衛権』(岩波書店)、『はじめての憲法教室』(集英社新書)、『戦争とたたかう—憲法学者・久田栄正のルソン戦体験』(岩波現代文庫)ほか。共著『検証防空法』(法律文化社)ほか多数。NHKラジオ第1放送「新聞を読んで」レギュラー14年(2011年3月番組終了)。ホームページ<http://www.asaho.com/>を連続更新20年。

-----参加申込書 (お寄せいただいた個人情報は財団からのご案内に利用させていただきます。)-

ふりがな お名前			
連絡先	住所	(〒)	
	電話	FAX	メール
受講歴	はじめて参加 ・ 前に参加したことがある		
現職議員	自治体名	所属党派	党籍 有() ・ 無
議員以外	活動など()		
参加費 払込方法	郵便振替 ・ その他() 払込金額 参加費(現職議員18,000円/議員以外8,000円) + 交流会参加費(2,500円) = 円		
参加のきっかけ	議会事務局より ・ 当センターからの案内 ・ 『女性展望』誌上 ・ 当センターHP ・ その他		

FAX 03 - 5388 - 4633

備考(要望など)



No. 256 月例フォーラム

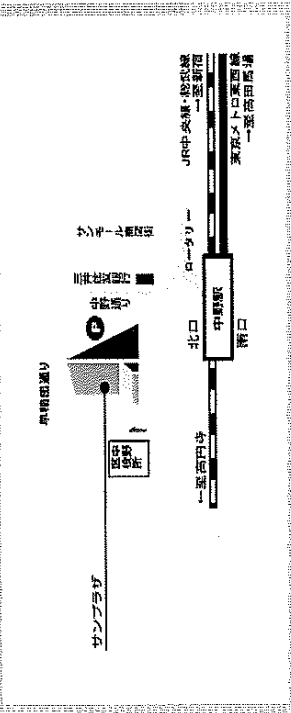


指定管理者制度の現在の現場

中野サンプラザ7階研修室8

中野区中野4-1-1 TEL 03-3388-1151

【交通】 JR中央線・総武線・東京メトロ東西線 中野駅より徒歩2分



次回の月例フォーラム:

指定管理者制度の現在～指定管理者基本条例の必要性～

講師

幸田 雅治(こうだ まさはる)さん

(神奈川大学法学部教授)

とき

10月 30日(月) 13:30～16:15

内容

講師は、かつて総務省職員として、制度の創設・実施の状況を見てきた。そこで明らかになった理念と実態の乖離を訴え、指定管理者制度の必要性を訴え、おられる可能性について語っていただきます。

No.258

「指定管理者制度のあり方と市民参加」

講師:伊藤 久雄さん(認定NPO法人まちぼっと理事)

とき: 11月22日(水) 13:30～16:15

会場: 中野サンプラザ7階研修室8

No.257～259のテーマは「指定管理者制度の現在」です

公益社団法人 東京自治研究センター

〒102-0072 千代田区飯田橋1丁目12番15号 福岡第4ビル1階

TEL. 03-6256-9912 FAX. 03-6256-9913

<e-mail>tokyojic@jca.apc.org <Web> <http://www.jca.apc.org/tokyojic/>

● 参加費:1,000円(会員は無料)

市民と議員の条例づくり交流会議2017 秋の特別企画

市民自治体と介護保険のガバナンス

介護保険制度の改定と 議会審議のポイント

介護保険制度は、介護の社会化とともに、地方分権の試金石として2000年度からスタートしました。今回、6回目の制度見直しが行われ、2018年度から「地域包括ケア」を本格化させることになります。

介護保険は、給付の縮減を第一に考え保険料を極力抑える運営を行う。反対に、特養入所者の全入を目指し、給付の提供を第一に考え保険料を上げるなど内容や保険料の選択が自治体ごとにできる制度です。あらためて、自治体での基本的な考え方をどう整理し、実現するのが問われています。

議会は、介護保険料や介護保険の内容を左右する予算・決算を決めます。つまり、議会の審議やチェック機能が問われることになり、議会改革の様々なツールを生かす絶好の機会になります。

介護保険の基礎知識や法改正・制度改定のポイントをおさえ、地方分権や市民参加をふまえた議会の役割を確認し、市民が自治体を介して支え合う仕組み・介護保険のガバナンスを議論します。

ぜひ、ご参加ください！

日時○2017年 **11月5日** (日)
 13時30分～16時30分 (開場13時)
 会場○首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス
 (JR秋葉原駅より徒歩1分)
 参加費○議員 5,000円 / 市民 1,000円
 定員○80名 (要申込 / 第一次メ切10月10日)
 ※定員に達し次第、申込受付は終了いたします
 ※HP申込フォーム、裏面申込用紙よりお申込ください

■プログラム (2017年9月15日現在)

第一部○講演 **鏡論**さん
 (淑徳大学コミュニティ政策学部教授)
 ※講演者略歴は、裏面に掲載しています。

第二部○ディスカッション
 コーディネーター **廣瀬 克哉**さん (法政大学)

主催



市民と議員の
条例づくり交流会議



自治体議会改革
フォーラム

〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F

TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463

E-mail jourei@jourei.jp URL <http://www.jourei.jp/>

市民と議員の条例づくり交流会議2017 秋の特別企画

市民自治体と介護保険のガバナンス

介護保険制度の改定と議会審議のポイント

2017年11月5日（日）@首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス

講演者略歴

鏡 諭さん

淑徳大学コミュニティ政策学部教授。早稲田大学大学院社会科学部兼任講師、法政大学大学院公共政策研究科兼任講師、関東学院大学法学部兼任講師。専門は、自治体福祉政策論。1954年山形県出身、1977年所沢市役所入庁、介護福祉課主査、高齢者支援課長、総合政策部政策審議担当参事を歴任後、2009年3月退職。同年4月から現職。

近著、介護保険制度の強さと脆さ（2017/5/11）はじめ、自治体現場からみた介護保険一分権時代の高齢者福祉改革（2001/4）、総括・介護保険の10年—2012年改正の論点（2010/5）、介護保険なんでも質問室（2006/10）など。

参加申込書（事務局宛FAX 03-3263-9463）※第一次メット10月10日

（ホームページの申込フォームからお申し込みいただけます。残数表示等もHP上にて行う予定です。）

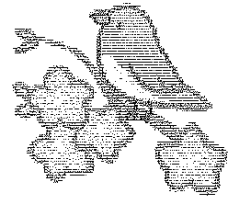
（領収書は、ご用意いたします。参加費は、当日受付にて現金でお支払いください。）

ふりがな	ふ じ の み ち こ
お名前（フルネーム）	福井 みち子
ご所属	白井市議会 (議員の場合は議会名を、自治体職員の場合は自治体名を、ご記入ください)
参加種別	<input type="checkbox"/> 市民（議員以外）（参加費1,000円） <input checked="" type="checkbox"/> 議員（参加費5,000円） どちらかに <input checked="" type="checkbox"/> または マル をお願いします。
E-mail アドレス	fu-michi@oz3io.jp
ご住所	〒290-1425 白井市池の上 2-11-1
その他連絡事項など	念のためフックスでも送ります。 ホームページの申込みフォームでも送信しましたが...

事務局○市民と議員の条例づくり交流会議

〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7 一番町村上ビル6F TEL: 03-3234-3808

まなぶ門には 春がくる！



第26回 地方×国 政策研究会

2018年 2月1日(木)

10時～16時10分 受付 9時30分開始

場所：衆議院第2議員会館 多目的会議室
東京・地下鉄永田町・国会議事堂前駅 徒歩5分

9時30分～10時と12時30分～13時30分に会館入り口にてスタッフが通行証を配布します。他の時間帯は090-4030-1219 井奥 までお問い合わせください。

(事前予約のお申し込みは裏面をご参照ください)

予算議会が迫ってきました。来年度の自治体の方向性を決める重要な議会です。国の政策（方向性）を学び、読み解くことで各自治体の予算の骨格を知る研究会を開催します。講師に井手英策さんもお招きしました。

●テーマ1 平成30年度地方財政計画、平成29年度国の補正予算（講師：センター調査部・国の職員）

当初予算審議の参考に平成30年度地方財政計画を取り上げます。平成29年度補正予算・概要説明も必聴。

●テーマ2 介護保険法改正（講師：国の職員）

2017年5月に改正された介護保険法のポイントを解説いただきます。一部のサービス利用者への3割負担などの負担増や新サービス創設といった大きな変化が予想されます。

●テーマ3 生活保障のあり方（講師：慶應義塾大学経済学部教授 井手英策さん）

テーマ1の国のめざす方向性、テーマ2の介護保険など社会保障のめざす方向性について、別の視点から鋭く指摘続ける学者、井手英策さんから生活保障のあり方の総論をお話しいたします。

テーマ1 平成30年度地方財政計画、平成29年度国の補正予算＊10時スタート 開会挨拶(10分)

10:10～10:20 地方財政計画と補正予算でチェックすべき点（センター調査部より）

10:20～10:50 平成30年度地方財政計画（国の職員による説明）

10:50～11:20 質疑応答 <10分休憩 職員との名刺交換など>

11:30～12:00 平成29年度補正予算（国の職員による説明）終了後12時30分まで質疑応答

12:30～13:45 [昼食休憩 同じ建物に食堂・コンビニあり]

テーマ2 介護保険法改正

13:45～14:15 介護保険法改正のポイント（国の職員による説明）

14:15～14:50 質疑応答 <10分休憩 職員との名刺交換など>

テーマ3 生活保障のあり方

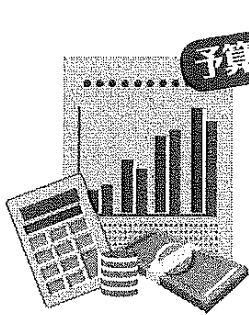
15:00～15:40 生活保障のあり方 講師：井手英策さん（慶應義塾大学経済学部教授）

15:40～16:00 質疑応答・意見交換

16:00～16:10 まとめ、閉会の挨拶

*時間帯、順序などについては変更の可能性があります。

*13時～13時30分にセンターの利用会員集会を実施します。

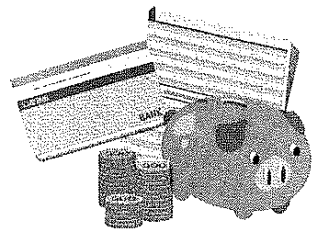


予算議会を前に

市川房枝政治参画フォーラム 身近な問題から財政を考える

～消費税はどこへいく～

2018年 1/26(金)・27(土) 於: 婦選会館



各市町村で予算編成が進んでいます。命に直結するセーフティネットや私達の暮らしに直結した国家予算が削られつつある今、地方議員は予算議会に向けてどこに着眼して、何を言うべきか。

社会保障充実のためとして行われた消費税増税分の使途が、自民党の選挙公約によりどこへいくのか等々、身近な問題から財政を考えます。

分権をめざした時代から後戻りして中央集権化が進む中、改正された監査制度なども学び、地方議会が「住民自治の根幹」となる、持続可能な共生社会に向けて、一緒に考えましょう。

■参加費 現職議員18,000円・現職議員以外8,000円(ともに税込)、交流会参加費は別途2,500円(税込)

■対象 自治体議員及びその支援者、テーマに関心がある人(主に女性)

■定員 約40名(要予約・受付先着順)

..... 1/26(金)(1日目)

13:00～15:00 監査制度の改正を踏まえた議会からの政策サイクル

—「住民自治の根幹」としての議会を作動させる— 江藤 俊昭さん(山梨学院大学教授)

15:10～17:10 幼児教育無償化の行方

天野 由輝子さん(日本経済新聞社記者)

17:25～18:45 交流会(自由参加)

..... 1/27(土)(2日目)

10:00～12:00 カレントトピックス 安倍首相の憲法改正提言のねらいと危険性

渡辺 治さん(一橋大学名誉教授)

13:00～15:30 福祉・国保・健全化—課題山積の18年度自治体予算

菅原 敏夫さん(公益財団法人地方自治総合研究所嘱託研究員)

▼参加希望の方は1月22日(月)までに、①参加費の払込み、②裏面の申込用紙の送付、をもって受付といたします。払込みが遅れる場合は必ずご一報ください。キャンセルは1月22日までは申し受けます。

▼原則2日間通してお申し込みを優先し、席に余裕があれば1日だけの参加もお受けします。

▼参加費納入期限以降(1月23日～)のキャンセルは、参加費が全額発生します。代理の方のご出席、もしくは1年以内の他のフォーラムへの振替をお願いします。

▼講師の都合などにより変更がある場合は、ご了承ください。

振込み先

郵便振替 口座番号

口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター

銀行 支店

口座名 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

銀行 店

口座名 (公財)市川房枝記念会女性と政治センター

お申込み、お問い合わせは下記まで

主催: (公財) 市川房枝記念会女性と政治センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館

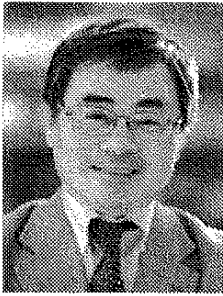
TEL: 03-3370-0238

FAX: 03-5388-4633

E-mail: fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp

URL: <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

講師プロフィール



江藤 俊昭 (えとう としあき) さん

山梨学院大学法学部教授。博士(政治学)。1986年中央大学大学院博士後期課程満期退学。地域政治論。三重県議会改革諮問会議会長、鳥取県智頭町行財政改革審議会会長、第29次・第30次地方制度調査会委員等を歴任。現在、総務省「町村議会のあり方に関する研究会」委員、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「報酬等に関する研究会」委員長、全国町村議会議長会特別表彰審査委員、議会アドバイザー(多数)など。『議会改革の第2ステージ』(ぎょうせい、2016年)、『Q&A 地方議会改革の最前線』(編著、学陽書房、2015年)、『自治体議会学』(ぎょうせい、2012年)等多数。



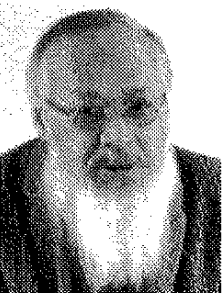
天野 由輝子 (あまの ゆきこ) さん

日本経済新聞社編集局地方部記者。2000年津田塾大学学芸学部国際関係学科卒、日本経済新聞社入社。駆け出し時代の配属は大阪経済部。機械や外食、サービス業界などを担当する。04年3月～08年9月東京本社生活情報部に働く女性の問題や食など暮らしにまつわるテーマを取材し、08年9月～11年3月さいたま支局。県・市政や地銀、中小企業などを担当した。11年4月以降は東京地方部で都や市区町村の子育て支援策を中心に取材する。16年度は日経労組の執行委員として在宅勤務の制度設計にも携わった。2児を育てる母。



渡辺 治 (わたなべ おさむ) さん

一橋大学名誉教授。1947年東京生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学社会科学研究所助手、助教授を経て、1990年より2010年まで一橋大学教授。専門は、政治学、憲法学。2004年「九条の会」発足時から事務局。著書・論文には共編著『日米安保と戦争法に代わる選択肢』(大月書店、2016年)、『現代史の中の安倍政権—憲法・戦争法をめぐる攻防』(かもがわ出版、2016年)、『大国への執念—安倍政権と日本の危機』(共著、大月書店、2014年)ほか多数。



菅原敏夫 (すがわら としお) さん

公益財団法人地方自治総合研究所嘱託研究員。神奈川県自治総合研究センター、社団法人東京自治研究センターを経て2005年より地方自治総合研究所勤務。自治体財政、自治体財務論専攻。国際公会計学会会員、日本地方財政学会会員、地方自治学会会員。『スラスラわかる!自治体財政健全化法のしくみ』(ぎょうせい、2007年)、『財政基盤の確立と会計制度』(共著、東京法令出版、2000年)、『岩波講座自治体の構想 政策』(共著、岩波書店、2002年)、『公会計・監査用語辞典』(共著、ぎょうせい、2002年)、「社会保障予算をどう読むか」(『季刊福祉労働』2015年6月号)、「大災害における財政の役割」(地方自治総合研究所)他。

-----参加申込書(お寄せいただいた個人情報は財団からのご案内に利用させていただきます。)-

ふりがな お名前			
連絡先	住所	(〒)	
	電話	FAX	メール
受講歴	はじめて参加 ・ 前に参加したことがある		
現職議員	自治体名	所属会派	党籍 有() ・ 無
議員以外	活動など()		
参加費 払込方法	郵便振替 ・ その他() 払込金額 参加費(現職議員18,000円/議員以外8,000円) + 交流会参加費(2,500円) = 円		
参加のきっかけ	議会事務局より ・ 当センターからの案内 ・ 『女性展望』誌上 ・ 当センターHP ・ その他		

ご要望など

FAX 03 - 5388 - 4633

--	--	--	--	--

図書館政策・市長フォーラムー「公の施設」か「社会教育施設」か

公共施設再編時代の図書館

～図書館の「知の地域づくり」拠点化と地方創生への活用方策を考える～

- まちづくりから見た「知の地域づくり」ー公共施設再編時代の公立図書館と地方創生
- 大和市長(神奈川)ー文化創造拠点「シリウス」開館1年/来館者300万人の成果と展望
- 生駒市長(奈良)ー「知と行動の拠点」としての図書館/ワークショップの成果と市民との協創
- 南魚沼市長(新潟)ー民間委託から直営に戻した4年間と情報発信拠点施設としての取組み

2018年3月29日(木) 10:00～17:00

日本教育会館・会議室(東京・千代田区)

- 【講師陣】
- 糸賀 雅児 氏/慶應義塾大学名誉教授
 - 大木 哲 氏/神奈川県大和市長
 - 小紫 雅史 氏/奈良県生駒市長
 - 林 茂男 氏/新潟県南魚沼市長

- 会場: 日本教育会館・会議室
東京都千代田区一ツ橋2-6-2
(案内図は申込後送付)

- 参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一般	35,000円	34,000円

当日参加で申込後にご都合が悪くなった場合には代理の方のご出席をお願い致します。

- 支払方法: 請求後の振込・郵便振替・当日払い

銀行 支店
 銀行 支店
 銀行 支店

郵便振替: 口座名: 地域科学研究会

- 申込方法: 下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・郵送・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX: 03-3234-4993 Email: machi@chiikikagaku-k.co.jp

年 月 日

□研修会『公共施設再編時代の図書館』への参加

勤務先 (請求書等宛先名) _____ 連絡担当者 _____

所在地〒 _____ TEL _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____ FAX _____

_____ Email _____

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名: _____

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講 義 内 容
<p align="center">I. 図書館による「知の地域づくり」～現状と今後の可能性～ 慶應義塾大学名誉教授 糸賀 雅児 氏</p>	
10:00 } 10:45 (休憩 10分) } 10:55 } 11:40	<p>1. 図書館による「知の地域づくり」の現状 (1)「知の地域づくり」とは? (2)「まちづくり」から見た図書館による「知の地域づくり」の特性 (3)民主主義と地方自治に果たす図書館の本来の役割</p> <p>2. 公共施設再編と公立図書館による地方創生 (1)「公共施設再編」とは? (2)図書館での「地域課題の解決」による地方創生の事例 (3)図書館は「公の施設」か「社会教育施設」か?</p>
<p align="center">II. 自治体首長の図書館論と実践の報告</p>	
12:40 } } 13:25	<p>1.〔神奈川県大和市〕図書館を核とした「文化創造拠点シリウス」がめざしたもの ～年間来館者数300万人から見えてくるものとは～ 大和市長 大木 哲 氏</p> <p>(1)健康都市大和市の施策 (2)文化創造拠点シリウス開館までの取組み (3)年間来館者数300万人を達成した要因 (4)市民の求める公共施設とは?</p>
13:35 } } 14:20	<p>2.〔奈良県生駒市〕「知と行動の拠点」としての図書館 ～ワークショップの成果、市民との協創～ 生駒市長 小紫 雅史 氏</p> <p>(1)生駒市の課題から図書館のあり方を考えた (2)「知と行動の拠点」としての図書館～公共×市民×地域～ (3)将来のビジョン—「人」にとことんこだわりぬく</p>
14:30 } } 15:15	<p>3.〔新潟県南魚沼市〕直営に戻して取組んだ4年間 南魚沼市長 林 茂男 氏</p> <p>(1)南魚沼市の概要 (2)駅前商業施設への図書館建設の経緯とその効果 (3)情報発信の拠点施設としての取組み (4)地域、学校、民間との連携 (5)今後の運営に向けた課題と目標</p>
<p align="center">III.〔パネル討論(意見交換&質疑応答)〕公共施設再編時代における図書館のあり方 ～市長が語るわがまちの図書館像～</p>	
15:30 } } 17:00	<p>パネラー : 大木 哲 氏/神奈川県大和市長 小紫 雅史氏/奈良県生駒市長 林 茂男氏/新潟県南魚沼市長</p> <p>司 会 : 糸賀 雅児氏/慶應義塾大学名誉教授</p> <p align="center">〔参加者の質問に講師陣が答えるとともに、 公共施設再編時代の図書館をめぐる論点を 整理し論じ合います。〕</p>

領 収 証

No. 44

福井みち子 様

2017年 4月26日

★ ¥17,280-

但 市川房枝政治参画フォーラム参加費 2017.5.19~20

上記正に領収いたしました

内 訳	
税抜金額	
消費税額等(%)	

公益財団法人 市川房枝記念会女性と政治センター
 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館
 電話 03 (3370) 0238 〒151-0053

コクヨ ウケ-76

地方×国政策研究会
領 収 証

福井みち子 様

2,000 円

但し 政策研究会参加費として

2017年5月8日

自治体議員政策情報センター 虹とみどり
 〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田
 TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724



領 収 書

白井市議会議員
福井 みち子 様

金 5,000 円 (消費税込み)

但し、セミナー参加費として
(多久市が市内全校を小中一貫教育とした理由
平成 29 年 5 月 29 日開催)

平成 29 年 5 月 29 日

株式会社図書館総合研究所
東京都文京区大塚三丁目 1 番 1 号
代表取締役社長 小澤 嘉謹



領 収 書

No. 1002

福井 みち子 様

金額		¥	2	4	5	0	0	—
----	--	---	---	---	---	---	---	---

但し 8/1 地方自治と図書館 セミナー参加費

上記金額正に領収致しました

2017 年 8 月 1 日

〒102-0082 東京都千代田区一番町 6-4
ライオンズ第 2

TEL03 (3234) 1231 FAX03 (3234) 4993

株式会社地域科学研究所

代表取締役 緑川 富美雄

領収書

白井市議会 福井みち子様

金額 4,400 円

但し、

平成29年度第2回市町村議会議員特別セミナー

の研修に要する経費
(研修生活動費を除く)
として上記の金額を領収いたしました。

平成29年7月27日

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研究所
分任出納役 前田 久永

領収書No. 782

領収書

Receipt 2017.8.-2

領収金額 ￥26,160

上記金額に領収いたしました
JR東車券類 JR tickets

購入商品 (603354株)
日本旅客鉄道株式会社
東品川駅
品川線

納告 谷 波 登 泰
印紙税 申 承 承 承
付 に つ き 署 務 署

00336-01

領収証

福井みち子様

2017. 9. 20
年 月 日

¥2,000.

但 JIフォーラム参加費
上記正に領収いたしました

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-9-2
エスパリエ平河町3F

内訳
税抜金額
消費税額等 (%)

一般社団法人 構 想 日 本
代表理事 加 藤 秀 樹

領 収 証

福井 みち子 様

No. _____

★

¥ 1,000 -

但 第56回月例フォーラム参加費

2017年 9 月 25 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋一丁目12番15

福岡第七ビル

公益社団法人東京自治研究センター

収 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領 収 証

No. 29

福井 みち子 様

2017 年 10 月 27 日

★ ¥ 18,000 -

但 市川房枝政治参画フォーラム参加費 10/27~28

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

公益社団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館

電話 03 (3370) 0 2 3 8 〒151-0053

コクヨ ウケ-76

領 収 証

福井 みち子 様

No. _____

★

¥ 1,000 -

但 第55回月例フォーラム参加費

2017年 10 月 30 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋一丁目12番15

福岡第七ビル

公益社団法人東京自治研究センター

収 入
印 紙
コクヨ ウケ-1097

領 収 書

2017年11月5日

福井みち子 様

5,000円

交流会議2017秋の特別企画 参加費として

上記正に領収いたしました

市民と議員の条例づくり交流会議

〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F

TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463

領 収 証

No. 50

福井みち子 様

2018年1月12日

★ ¥18,000-

但 市川房枝政治参画フォーラム参加費

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館

電話 03 (3370) 0238 〒151-0053

地方 × 国政策研究会
領 収 証

福井 みち子様

4,000 円

但し 政策研究会参加費として

2018年2月1日

自治体議員政策情報センター 虹とみどり
〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

領 収 証

No. 387

福井 殿

金 額	¥	2	4	5	0	0
-----	---	---	---	---	---	---

但し 19年公共施設再編時代の図書館セミナー参加費

上記金額正に領収いたしました

2018年3月29日

〒102-0082 東京都千代田区千代田 6-4
TEL03 (3234) 1231 FAX03 (3234) 4993 ライオンズ第2

株式会社 地域科学研究会

代表取締役 福井 美雄

政務活動費収支報告書補助表

使途項目 広報費

議員名 福井 みち子

単位:円

年月日	支出内容	支払金額	備考
平成29年5月15日	議会報告「かわらばん」印刷	114,264	
	このうち 65,324円を請求		
計		65,324	

キャッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきまして
ありがとうございます。

ちば興銀

お取引種別 振込
お取引日 29-05-15
お取引店 480
お取引店番号 56

お取引銀行 [REDACTED]
お取引店番号 [REDACTED]
口座番号 [REDACTED]

お取引標準枚数 0
お取引金額 ¥114,264

お取引時間 1658
お取引残高(頭部一印はご融資残高) *****

ご案内 銀行 手数料 ¥412

(カ)ワイエムエス ユキ ヒロフミ 様

フクイ ミチコ 様

000119

電話番号 047-491-2367

お振込は05月16日となります

お取引番号 089095

印紙税申告納
付につき千葉県



白井市議会議員(無所属)

福祉と環境
こころ100%

池の上2-11-1 Tel Fax491-2367
E-mail fu-michi@ozzio.jp
ホームページ <http://fu-michi.seesaa.net/>

風薫る季節となりましたが、その風に何やらきな臭さが混じり戦前の社会に逆戻りするのではないかと心配になる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。国も地方自治体も将来につけを回さないため、議会の役割の重要性が増しています、今年度もしっかりとチェック、提言してまいりますのでよろしくお願い致します。

過去最大となった当初予算

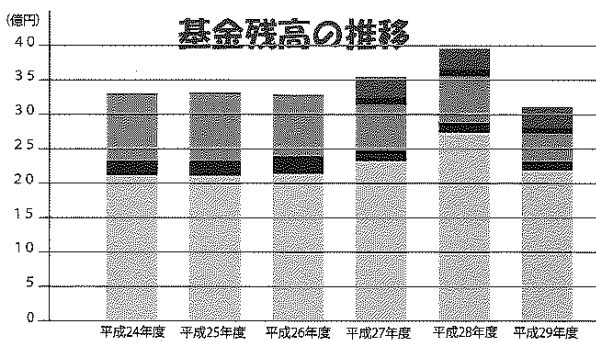
平成29年度予算

	平成29年度	前年対比
一般会計	203億8600万円	1.4%増
特別会計(6会計)	129億200万円	0.2%減
合計	332億8800万円	0.8%増

市は、今後直面する少子高齢化、人口減少や公共施設の老朽化などで財政運営が大変厳しい状況になることを予測している。にもかかわらず、今年度も一般会計は前年度比1.4%増となっている。

不足する歳入を補うために、財政調整基金5億814万円(前年度比38.2%増)と市債31億5112万円(前年度比13.2%減)を計上している。

厳しい財政状況を予想して「行政経営指針」を策定し今年度は「行政改革実施計画」を策定する予定の割には、過去最大の予算となった。これでは将来につけを回しかねない状況が依然続く懸念したが、若者世代の入居に伴い小中学校の校舎増築の予算などが含まれていることで賛成した。



財政調整基金 減債基金 国際交流基金 社会福祉事業推進基金 公共施設整備保全基金
まちづくり寄附金基金 千葉ニュータウン事業に係る白井市道整備基金
*平成24年度～平成27年度は決算額、平成28年度及び平成29年度は年度末決算額見込み。
*平成24年度に基金の再編により、公共施設整備保全基金、まちづくり寄附金基金を設置。
*平成27年度に千葉ニュータウン事業に係る白井市道路等整備基金を設立。*土地開発基金を除く。

予算審査から感じたこと

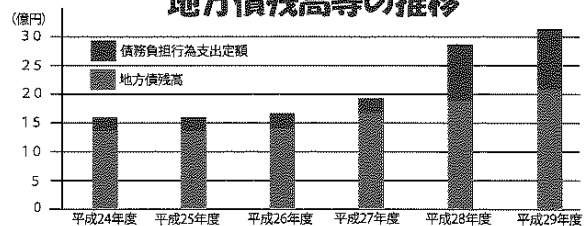
1、第5次総合計画の2年目の今年度予算では、「若い世代定住プロジェクト」「みどり活用プロジェクト」「拠点創造プロジェクト」といった重点戦略実現のための事業を優先することになっている。「若い世代定住プロジェクト」は保育事業など充実が見える。「みどり活用プロジェクト」は構想はあっても具体的な事業の取り組みがない。さらに「拠点創造プロジェクト」では一過性のイベントでなく継続的な販わい創出が必要と感じる。今後、職員の発想力と知恵、先進地に学ぶ努力が必要だ。

2、福祉予算では生活困窮者支援事業法に基づく家計支援や学習支援が実施予定にないことは遺憾である。ドリームチャレンジャー事業は重点事業と位置付けられているが、前年度の実績を見れば事業の目的と成果について検証が必要で継続は疑問だ。

3、教育委員会関係予算は七次台小中学校の増設事業で事業予算は増えている。だが、補助教員や支援員など現場職員の配置は現状のままだ。

子ども一人一人への行き届いた教育にはソフト面への予算増が必要だ。

地方債残高等の推移



*平成28年度及び平成29年度は年度末決算見込み。*平成24年度～平成27年度は決算額。

教職員の多忙を解消し、一人一人に向き合う教育を

教師の勤務時間は、月曜日から金曜日（5日間）1日につき7時間45分と定められています。しかし、連合総研は、1日平均4時間以上の残業が常態化し、自宅への仕事の持ち帰りが恒常的に行われていると調査報告しています。教師の異常とも言うべき多忙をなくし、教師に授業準備と子どもと触れ合う時間を保証するとともに、教育の質向上のための自己研鑽できる支援体制の強化を求めて質問をしました。

問 多忙の理由は把握していますか。

答 教師の勤務時間内は授業で小学校では児童や護者への連絡帳記入、中学校では生活ノートの記録、毎日起きる出来事への対応でいっぱい授業の準備や学級だより、自己研鑽などは時間外、家に持ち帰りとなっています。

問 労働基準法で定められた時間の把握や労働安全法の対応はどうしていますか。

答 学校の管理職がチェックをしていますが、持ち帰っての仕事量は把握できていません。

問 これまでも長時間勤務の解消の取り組みはされてはいるものの効果が上がっていません。基本的には国の教職員の定数配置にかかわることですが、市独自で増員することが必要と考えますがいかがですか。

答 市は他市に比べ補助教員をたくさんつけていると思っています。本務教員の定数を増やすのは国の仕事なので、国に要望を強めていきます。

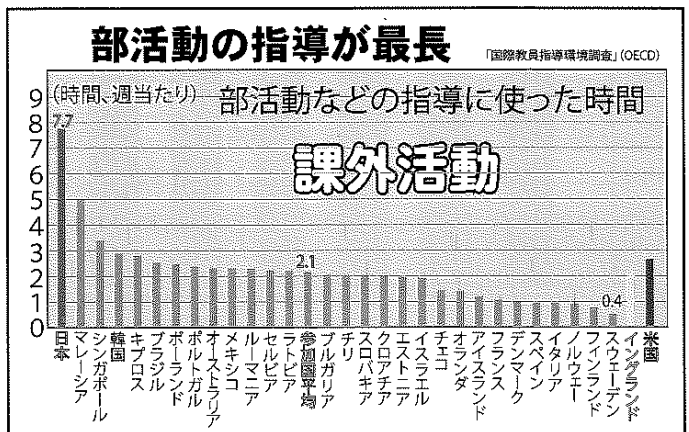
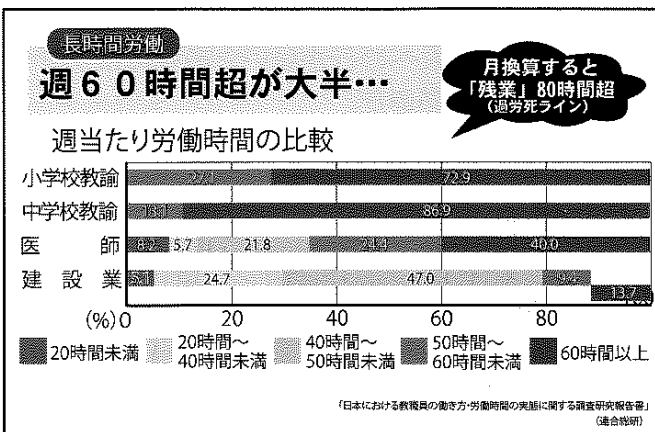
私の一言 市は現在、勤務実態の把握はしていない上、今後もするつもりはないとの回答でした。教師の健康管理、仕事の質の向上のためには土日勤務、勤務内容の把握、帰宅後の仕事時間など多忙実態を把握し、それに合わせた対策をとることが必要です。私が視察した市では市採用の教員を増やし、少人数授業を実現していました。若い世代を呼び込み、定住を図ることを市の重要施策というのであれば、教育に予算をもっと配分すべきだと私は考えます。

部活動の見直しを

問 教員の多忙化・過重労働の大きな要因として中学校では部活動指導に従事する時間が挙げられています。教員の本来の職務でないのに、大半の教員に部活動の顧問が割り振られ、教員の最も重要な仕事である授業の準備や学級経営に影響が出ています。部活動指導の在り方を見直すべきではありませんか。

答 顧問の複数制、原則週1日の休養日、部活動サポーターの活用など部活動ガイドラインをつくりそれに沿って行うよう各学校に依頼しています。

私の一言 外部からの部活動サポーターは、教師の多忙解消には重要です。しかし、実績として10人を派遣しているにすぎません。教員の多忙化解消のみならず、運動系に偏った部活動を文化芸術系も含め多様な生徒の関心にこたえられるように広く指導者を募集して制度改革に取り組むべきです。



改正介護保険

介護の社会化は遠く！ 自分らしく暮らし続けられるのか！

介護保険制度が始まって17年、3年ごとに制度が見直され、今国会では平成30年度の制度改正案が通る見通しとなっています。

財政の持続可能性を高めることを理由に、改正のたびに予算削減、サービスの縮小が続いています。

このままでは、介護保険法第1条で定めた『要介護になっても「尊厳を保持」し、能力に応じた自立した日常生活が営めるようにするためにサービスを提供するものである』という理念に反することになってしまいそうです。

介護保険の目的を変更

介護保険の目的が入浴、食事、排せつ等の「生活の継続支援」から「自立支援・重度化防止」に変更されます。保険者である自治体には介護度を改善することが求められ、その達成度によって国の交付金が出される仕組みになります。これでは介護保険の理念である高齢者がサービスを選択し、その人なりの自立した生活を継続するための支援とはかけ離れ、お仕着せのサービスで無理やり自立を強いられることになりかねません。

子ども・障害・高齢サービスを一体的に提供

介護保険と障害福祉・児童福祉介護を一体的

に提供する「共生型サービス」を、介護保険サービスの一類型として新たに創設します。

障害者が65歳になり介護保険の被保険者になった場合、介護保険優先の原則があるため、それまで利用してきた障害福祉サービスとは別の、介護保険サービス事業所を利用しなければならないケースが増えてきているため、障害福祉事業所が介護保険事業所の指定を受けやすくするというものです。

例えば終末ケアと就労支援や児童養護や教育といった目的の違う障害者・児童福祉介護と介護保険とを共通化できるのか疑問があります。将来的には、障害や児童福祉も保険制度に変更していこうという流れにつながるのではと危惧します。

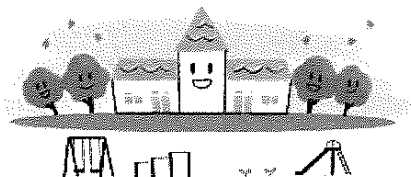
利用者負担を、3割に引き上げる

年収340万円以上の単身者、463万円以上の夫婦世帯の自己負担を3割に引き上げられます。介護保険利用者のうち、約3%に当たる12万人が該当します。平成30年8月から施行を目指しています。

「報酬に応じた保険料、必要に応じた給付」が介護保険の理念であり、取れるところから取るのでは将来に制度への不安が残ります。昨年の2割負担でも「訪問介護を減らしたことで散歩などの機会が減った」「費用が払えずサービスが利用できない」と利用者から痛切な声が上がっています。負担増がもたらす利用者の生活、影響調査もせずに3割負担導入は早計であると思いますし、将来的に3割負担の対象者が拡大するのではといった不安もあります。

保育園新設

市では 昨年度4月には「待機児0」を達成しましたが、今年4月1日現在は、建設される予定だった保育園が地域住民の反対で中止になったこともあって、1002人の申込者に対して10人の待機児と18人の空き待ちが発生してしまいました。新たな保育所の整備が急がれる状況の中、来年度に大山口地域に60人規模の保育園開園の協議が進んでいます。



トピックス

病児保育が始まっています

病児保育とは、お子さんが当面症状の急変が認められない病気のとときであって、保護者の方の仕事の都合などで家庭での保育が難しい場合に、病院に併設した病児保育施設でお子さんを預かり、看護師・保育士が体調をみながら一時的に保育するものです。

- ・白井聖仁会病院病児保育「うさぎ保育所」(笹塚3-25-2)
 - ・月曜～土曜日 8時から18時(土曜日は8時から13時)
 - ・利用するためには、事前に登録し、預ける前日までに受診して申し込む
 - ・生後6か月から小学校6年生までのお子さん(白井市・鎌ヶ谷市に在住)
 - 利用料金 1時間 300円
- 詳しくは、白井市健康福祉部保育課(047-497-3488)迄

政務活動費収支報告書補助表

使途項目 資料作成費

議員名 福井 みち子

単位:円

年月日	支出内容	支払金額	備考
平成29年4月17日	コピー代	270	
平成29年8月31日	コピー代	1,550	
平成30年3月13日	コピー代	1,210	
計		3,030	

105481

平成 28 年度

C 領収証書		課名		議事事務局	
会計区分	一般会計	課名	議事事務局		
住所	白井市池の上2-11-1				
氏名	福井 みち子 様				
電話	247 (491) 2307				
第 40 号		科目	項目	節	
科目	20	04	01		
計					1210
納期限	平成 年 月 日				
上記の金額領収しました。					
平成 年 月 日	白井市会計管理者				
領収日付印					
取りまとめ金融機関名					
千葉銀行白井支店					
◎裏面に記載の金融機関					
(納入者)					

105494

平成 29 年度

C 領収証書		課名		議事事務局	
会計区分	一般会計	課名	議事事務局		
住所	池の上2-11-1				
氏名	福井 みち子 様				
電話	247 (491) 2367				
第 4 号		科目	項目	節	
科目	20	04	01		
計					1550
納期限	平成 年 月 日				
上記の金額領収しました。					
平成 年 月 日	白井市会計管理者				
領収日付印					
取りまとめ金融機関名					
千葉銀行白井支店					
◎裏面に記載の金融機関で取扱います。					
(納入者)					

平成 29 年度

No.z-080006

C 領収証書		課名		議事事務局	
会計区分	一般会計	課名	議事事務局		
住所	白井市池の上2-11-1				
氏名	福井 みち子 様				
電話	047-491-2367				
第 016 号		科目	項目	節	
科目	20	04	02	01	
01	コピー代等				1210
計					¥1210
納期限	平成 年 月 日				
上記の金額を領収いたしました。					
平成 年 月 日	白井市会計管理者				
領収日付印					
取りまとめ金融機関名					
千葉銀行白井支店					
◎裏面に記載の金融機関で取扱います。					
(納入者)					

政務活動費収支報告書補助表

用途項目 資料購入費

議員名 福井 みち子

単位:円

年 月 日	支 出 内 容	支 払 金 額	備 考
平成30年1月15日	2017社保協キャラバン報告書	1,000	
平成29年4月30日	ぎょうせい1年分	12,312	(株)ギョウセイ
平成29年8月1日	地方自治と図書館	2,200	(株)地域科学研究会
平成30年3月30日	千葉日報(28年4月～29年3月)	36,180	
計		51,692	

領 収 証

福井県女子美術会役員様 No. _____

★

7,100-

内 訳	但
現金	
小切手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

2019年 月 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

社務部自#事務局長 大石武夫

キャッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきまして
ありがとうございます。



お取引種別	お取引日	お取引店 番号
振 込	29-04-30	480 52
お取引銀行	取引店番号	口座番号
お取引残高	お取引金額	円
2 0 0 0	¥12,312	
お取引時間	*****	
1724	おつり	¥7,148
銀行	手数料	¥540

銀行
カ)キョウセイ 様

000324

フクイ ミチコ 様

電話番号 047-491-2367
お振込は05月01日となります

500円	100円	50円
10円	5円	1円
お取引番号 002461		

印紙税申告納
付につき千票泉

領 収 書

No. 1003

福井 みち子 様

金額				¥	2	2	0	0	-
----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し 地方自治と図書館 1冊 書籍代

上記金額正に領収致しました

2017年8月1日

〒102-0082 東京都千代田区一番町 6-4

ライオンズ第2

TEL03 (3234) 1231 FAX03 (3234) 4993

株式会社地域科学研究会

代表取締役 緑川 富美雄

領 収 証

福井 様

No. _____

金額									

収 入
印 紙

内 訳 理栄2-11-1 但 H29.4月~H30.3月 様報代と

現金 H30年3月30日 上記正に領収いたしました

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-390

Y&C 読売センター
しろい

〒270-1431 千葉県白井市根136-1
TEL047(491)0471 FAX047(491)0407

政務活動費収支報告書補助表

使途項目 事務費

議員名 福井 みち子

単位:円

年月日	支出内容	支払金額	備考
平成29年6月11日	インクカートリッジ	2,052	
平成29年7月24日	インクカートリッジ	5,567	
平成29年9月5日	インクカートリッジ	3,078	
平成30年2月5日	インクカートリッジ	3,938	
平成29年11月16日	コピー用紙	578	
	燃料費	22,553	
計		37,766	

KS ケーズデンキ

新製品が安い

お買上げ明細

2017年 6月11日(日) 13時52分

【お名前】 (1089000039462)
 フイ ミコ
 福井 みち子 様
 会員番号 [REDACTED]

<明細>

1 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766747516 LC211BK 3%値引対象	1点	¥1,026	・ 持帰
2 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766751698 LC211Y 3%値引対象	1点	¥1,026	・ 持帰
2点/合計 (内消費税等)		¥2,052 ¥152)	

[0111184-011163259-2310008478717]

領収証

2017年 6月11日(日) 13時52分

様
金額 ¥2,052
 (内消費税等 ¥152)
 但し、お品代として
 上記金額正に領収致しました。

<決済内訳>

現金	¥2,052
(内消費税等)	¥152)
現金お預かり	¥10,052
お釣り	¥8,000

ケーズデンキ白井駅前店
 電話番号 047-498-3150
 販売担当者 [REDACTED]

店コード 2200001111844
 売上伝票番号 2310008478717

KS ケーズデンキ

新製品が安い

お買上げ明細

2017年 7月24日(月) 16時58分

【お名前】 (1089000039462)
 フイ ミコ
 福井 みち子 様
 会員番号 [REDACTED]

<明細>

1 トナーカートリッジ キヤノン 4960999417653 CRG-312 3%値引対象	1点	¥5,567	・ 持帰
1点/合計 (内消費税等)		¥5,567 ¥412)	

[0111184-011066505-2310007225442]

領収証

2017年 7月24日(月) 16時58分

様
金額 ¥5,567
 (内消費税等 ¥412)
 但し、お品代として
 上記金額正に領収致しました。

<決済内訳>

現金	¥5,567
(内消費税等)	¥412)
現金お預かり	¥6,000
お釣り	¥433

ケーズデンキ白井駅前店
 電話番号 047-498-3150
 販売担当者066505 PC クリニック

店コード 2200001111844
 売上伝票番号 2310007225442

お買上げ明細
2017年 9月 5日(火) 16時27分

【お名前】 (1089000039462)
カイ ミコ
福井 みち子 様
会員番号 [REDACTED]

---<明細>---

1 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766747516 LC211BK 5%値引対象	1点	・ 持帰	
3%値引対象			¥1,026
2 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766747530 LC211M 5%値引対象	1点	・ 持帰	
3%値引対象			¥1,026
3 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766747523 LC211C 5%値引対象	1点	・ 持帰	
3%値引対象			¥1,026
3点/合計			¥3,078
(内消費税等			¥228)

[0111184-011119287-2310008605205]

領収証
2017年 9月 5日(火) 16時27分

様
金額 ¥3,078
(内消費税等 ¥228)
但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

---<決済内訳>---

現金	¥3,078
(内消費税等	¥228)
現金お預かり お釣り	¥10,100 ¥7,022

ケースデンキ白井駅前店
電話番号 047-498-3150
販売担当者 [REDACTED]



お買上げ明細
2018年 2月 5日(月) 12時 3分

【お名前】 (1089000039462)
カイ ミコ
福井 みち子 様
会員番号 [REDACTED]

---<明細>---

1 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766747523 LC211C 5%値引対象	1点	・ 持帰	
			¥1,005
2 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766751698 LC211Y 5%値引対象	1点	・ 持帰	
			¥1,005
3 インクカートリッジ ブラザー工業 4977766751711 LC211BK-2PK 5%値引対象	1点	・ 持帰	
			¥1,938
4 使用済みインク値引き -----*			
2098010128256 インク社"¥10円	1点		¥0

明細小計 ¥3,948
B 値引 -10
4点/合計 ¥3,938
(内消費税等 ¥291)

[0111184-011119263-2310008885768]

領収証
2018年 2月 5日(月) 12時 3分

様
金額 ¥3,938
(内消費税等 ¥291)
但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

---<決済内訳>---

現金	¥3,938
(内消費税等	¥291)
現金お預かり お釣り	¥4,000 ¥62

ケースデンキ白井駅前店
電話番号 047-498-3150
販売担当者 [REDACTED]



2017年11月16日 (木)

福井みち子様 領 収 証

¥ 5 7 8 -

上記正に領収しました (消費税等 42円を含みます)
DCMホームマック白井店
電話 047-498-2222
但し

担当者 [Redacted] 0002-3039-5561

保管のお願い保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います

* 領収証明細 *
2017年11月16日 (木) 12:44 ｼﾞﾝ0002

016 高白色コピー用紙 2コ X 単289 ¥578
合計 (内税計) ¥578
(税合計) ¥42
お買上点数 2点 ¥42



ｼｰﾄNo5561

店No03201

自動車等燃料費・電話等通信費計算書

議員名 福井 みち子

(1) 自動車等の燃料費

①支払年度

平成 29年度分 (平成 29年 4月 ~ 平成 30年 3月分)

②支払金額

90,212 円

③政務活動費報告金額

22,553 円

※支払金額の4分の1を計上
(限度額24,000円)

(2) 電話等の通信費

①支払年度

平成 年度分 (平成 年 月 ~ 平成 年 月分)

②支払金額

円

(使用機器：固定電話・携帯電話・インターネット)

③政務活動費報告金額

円

※支払金額の4分の1を計上
(限度額60,000円)

ENEOS

納品書(領収書)

2017年04月20日 12:18

売上 MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSヴィーゴ P-15 *
51.12L 135円 ¥6,901

合計 (内消費税等(8.00%) クレジット支払) ¥6,901 ¥511

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0044676

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,296P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日分のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レイトNo 6335-05 〒-9No1067-1069
加盟店 17-50151
004セルフ売上 2017/04/20

ENEOS

納品書(領収書)

2017年06月16日 17:05

売上 MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSヴィーゴ P-21 *
50.27L 134円 ¥6,736

合計 (内消費税等(8.00%) クレジット支払) ¥6,736 ¥499

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0061799

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,356P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日分のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レイトNo 4460-07 〒-9No0717-0719
加盟店 17-58024
004セルフ売上 2017/06/16

ENEOS

納品書(領収書)

2017年06月18日 16:58

売上 MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSヴィーゴ P-06 *
52.84L 133円 ¥7,027

合計 (内消費税等(8.00%) クレジット支払) ¥7,027 ¥521

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0061009

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,392P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日分のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レイトNo 5271-02 〒-9No6624-6626
加盟店 17-63009
004セルフ売上 2017/06/18

ENEOS

納品書(領収書)

2017年07月13日 10:48

売上 MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSヴィーゴ P-09 *
53.42L 133円 ¥7,104

合計 (内消費税等(8.00%) クレジット支払) ¥7,104 ¥526

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0038534

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,428P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日分のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レイトNo 2795-03 〒-9No4195-4197
加盟店 17-68387
004セルフ売上 2017/07/13

ENEOS

納品書(領収書)

2017年08月07日 17:25

売上 MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSヴィーゴ P-16 *
49.60L 134円 ¥6,646

合計 (内消費税等(8.00%) クレジット支払) ¥6,646 ¥492

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0062437

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,428P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日分のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レイトNo 1568-05 〒-9No65205-5207
加盟店 17-74473
004セルフ売上 2017/08/07

かきりん代 90,212円 ÷ 4 = 22,553円

ENEOS

納品書(領収書)

2018年03月06日 16:41

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSガイーゴ P-18
52.41L 147円 ¥7,704

合計 ¥7,704
(内消費税等(8.00%)) ¥571
クレジット支払

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0059835

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®]イオ残高: 2,680P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 2258-06 デー-No4549-4551
加盟店番号17-21282
004セルフ売上 2018/03/06

ENEOS

納品書(領収書)

2018年02月04日 10:07

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSガイーゴ P-15
49.65L 147円 ¥7,298

合計 ¥7,298
(内消費税等(8.00%)) ¥541
クレジット支払

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0036448

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®]イオ残高: 2,644P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 2192-05 デー-No00575-0577
加盟店番号17-14488
004セルフ売上 2018/02/04

ENEOS

納品書(領収書)

2018年01月15日 13:06

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSガイーゴ P-15
33.63L 146円 ¥4,909

合計 ¥4,909
(内消費税等(8.00%)) ¥364
クレジット支払

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0047792

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®]イオ残高: 2,644P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 6960-05 デー-No8233-8235
加盟店番号17-10086
004セルフ売上 2018/01/15

ENEOS

納品書(領収書)

2017年12月27日 09:19

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号 実車番

ENEOSガイーゴ P-15
49.52L 143円 ¥7,081

合計 ¥7,081
(内消費税等(8.00%)) ¥525
クレジット支払

有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0033841

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®]イオ残高: 2,608P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 4603-05 デー-No6201-5203
加盟店番号17-05521
004セルフ売上 2017/12/27

ENEOS

納品書(領収書)

2017年12月03日 11:29

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号
実車番

ENEOSヴィーゴ P-15
49.43L * ¥7,068

合計 ¥7,068
(内消費税等(8.00%) ¥524)

クレジット支払
有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0041100

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,572P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 6629-05 デーNo06129-6131
外通番17-98883
004セルフ売上 2017/12/03

ENEOS

納品書(領収書)

2017年11月11日 18:49

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号
実車番

ENEOSヴィーゴ P-21
52.95L * ¥7,465

合計 ¥7,465
(内消費税等(8.00%) ¥553)

クレジット支払
有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0067094

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,536P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 3366-07 デーNo1466-1468
外通番17-95068
004セルフ売上 2017/11/11

ENEOS

納品書(領収書)

2017年10月05日 14:40

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号
実車番

ENEOSヴィーゴ P-15
52.40L * ¥7,178

合計 ¥7,178
(内消費税等(8.00%) ¥532)

クレジット支払
有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0052754

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,500P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 7630-05 デーNo0919-0921
外通番17-87138
004セルフ売上 2017/10/05

ENEOS

納品書(領収書)

2017年09月05日 16:40

売上
MICHIKO FUKUI 様

車両番号
実車番

ENEOSヴィーゴ P-15
53.35L * ¥7,095

合計 ¥7,095
(内消費税等(8.00%) ¥526)

クレジット支払
有効期限: XX/XX NC
支払方法: 一括払い
承認番号: 0059240

営業時間
平日 24時間営業
日曜日 24時間営業

ENEOS[®] イト残高: 2,464P
ポイント交換は当店でも可能です。
本日のポイントは次回以降のご利用代金明細書に反映されます。

ENEOSフロンティア千葉Co
DDセルフ白井西店
千葉県 白井市根772-14
TEL:047-492-5297 SS-372319
レシートNo 1271-05 デーNo8456-8458
外通番17-80930
004セルフ売上 2017/09/05